

PROGRAM NOTE

1998

近藤譲：シジジア

14 楽器のための

Syzygia

for 14 instruments

題名の「シジジア」は、「複合」を意味するギリシャ語。特に、古代ギリシャの音楽用語として用いられるときは、二つの異なるリズムの組み合わせから成る複合的リズムを指す。

この作品では、多くの部分に於いて、異なったリズムによる二本の流れが同存している。但し、それらの相互に独立した流れは、それぞれが様々な楽器の間で分散的に受け継がれて奏されることによって、意図的に曖昧にされ、全体の複合的なテクスチャーの中にほとんど埋没している。つまり、ここでは、その複合的なテクスチャーこそが、聴取の焦点となる。二つの異なるものが複合される時、その結果として、元の二つのどちらとも根本的に質を異にする第三のものが生じてくる。言うまでもなく、伝統的な「対位法」の目的はそこにあつたはずである。

14 楽器のための《シジジア》は、スペイン文化庁の委嘱によって東京シンフォニエッタのために、1998 年の 12 月に作曲され、2000 年に板倉康明指揮の同団によって東京で初演された。

近藤譲

初演：2000 年 4 月（東京）

初演者：板倉康明（指揮）、東京シンフォニエッタ

委嘱：CDMC（スペイン文化庁現代音楽助成センター）

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：12 分